

2024年2月6日発行

神奈川イグレンの活動状況を伝える機関紙

## 神奈川イグレンニュース〈第238号〉

発行：神奈川県異業種連携協議会（議長 金究武正）

発行責任者：専務理事 芝 忠 編集：事務局長 愛賢司

〒231-0015 横浜市中区尾上町580 神奈川中小企業センタービル7F

TEL/FAX045-228-7331 <http://www.kanagawa-igren.com>

（目次）

- 第89回 アジアビジネス探索セミナー報告 (1頁)

アジアビジネス探索セミナーNEWS 編集長 富岡泰央

- 第66回海老名サロン 2月22日（木）午後2時40分（4頁）

神奈川中小企業センター6階大研修室

「人を活かす多角化経営の実践！」

～挫折から学ぶ自己点検と経営理念の構築～

スターホーム（株）代表取締役 星 武司氏



（三島スカイウォークから眺望する富士）

## 第 89 回 アジアビジネス探索セミナー（2023 年 11 月 17 日開催）の報告

アジアビジネス探索セミナーNEWS 編集長 富岡泰央

### 講演 1、ミャンマー経済の日常と現実

㈱スリーイーホールディングス代表取締役社長兼グループ CEO 北中彰氏

1990 年創業、海外人材事業及びオフィス用品事業。年商約 37 億円、従業員国内 90 名、250300 名（ほとんどがミャンマー人）

#### ① ミャンマーの現状

ヤンゴン市内や郊外都市の雰囲気は一見すると「普通」。スーパーの店頭にも商品はそれなりに揃っている。紛争地域は遠隔の僻地のみ。しかし、停電も頻発。通貨も 21 年のクーデター以降対ドルで 1/3 の価値に暴落。

#### ② ミャンマー人材の魅力

クーデター以降の経済が崩壊状態のため、学歴の高い優秀な人材が海外に流出。そのなかで日本の人気が高い。現地での日本語能力試験応募者は 10 万人を超え、これは世界アジアトップ。しかも、日本では人集めに苦労している介護職にも応募が増えている。仏教国であるため現世で「徳を積む」意識が高いこと、老人をいたわる文化があることが主な理由と推測。

加えて、まじめで自己主張が控えめな人が多く、ミャンマー語と日本語の構造に類似点もある。ミャンマー現地通貨の価値がクーデター以降暴落しているため、報酬が現在の日本円でも彼らにとっては魅力的。また、来日するミャンマー人の約 50%が大学卒（国全体の大学進学率は 131%）

北中氏が経営するスリーイー社ミャンマー・ユニティ社はミャンマーから日本への人材送り出し扱い件数は約 4,300 名（入国再開後の過去 192 か月でも 2,900 名）で圧倒的トップ。成功の秘訣は現地日本語教育を徹底すること（少人数担任制、日本人が教師）と、「まじめに正しく」人材を送り出したこと（悪質な人材派遣業者も少なくない中で）。

この報告の前日にミャンマー出張から帰国したが、訪問した理由は現地法人の社員旅行参加。社員約 250300 名中 180 名が参加し、ヤンゴンから西へ 250km 市外のリゾート地に行った（ビデオでの紹介あり。若い人だらけ）

現在、技能実習で来日する人材の出身国の 1 位はベトナム、2 位中国、3 位インドネシア、4 位フィリピンでミャンマーは 54 位だが、日本での給与を含めた待遇が他の先進国に劣るため上位国の人員数は伸び悩み。いずれミャンマーが人材派遣国 No1 になると確信している。

## 講演 2, カンボジアで花開く日本企業のサービスビジネス

㈱レプリネット・カンボジア 代表取締役 北野岳氏、執行役員 植田章子氏

2016年創業。カンボジアでの広告代理店業務や日本企業進出コンサルタント支援、各種イベント企画運営事業。北野氏自身は2013年に自ら広告代理店業をカンボジアにて創業。16年頃からカンボジア事業に注力。

### 1, カンボジアの現状

人口1600万人、平均年齢が若く人口のさらなる伸びが期待できる。現在は政情も安定（立憲君主国家）、仏教国、事実上USドル圏経済。信頼できる経済データは得られない。が、データが無いからこそ“ワイルド”に投資することが成功のカギ。

### 2, 主な事業展開

日本のアニメやキャラクターなど“Kawaii”コンテンツを売り込むイベントをプノンペンで企画し、現地日本人会と連携した「盆踊り大会」と併せて本年10月に開催。場所は進出9年目のイオンのモール（同国で3店舗展開）。予想を超える盛況で「大成功」。来年11月にはさらに規模を拡大した第2回目の準備をすでに開始している。

そのほか手掛けている事業として以下の通り。

①日本企業カンボジア進出支援：現地の3つの工場団地オーナーと昵懇（それぞれ日本人、カンボジア人、台湾人）。また、官公庁を含めて人脈を形成している。いろいろ進出をお手伝いできる。

②ペット事業：富裕層にペットブーム到来。日本人以上にお金をかけることを厭わない。

③ウェディング事業：人口構成が若く需要が伸びていく上に、結婚式を豪華に行う国民性。

④人材派遣：カンボジア人をタイやベトナムに派遣（日本向けは行っていない）

⑤資産運用・投資事業：現地銀行への預金（USD建て金利2.5%）、不動産への投資（セカンドホームとして）の仲介等。

### ⑥ドローンのアジア大会企画運営

そのほか、「エンタメ特区」づくりにも参画。北野社長はJETROとも連携し、カンボジアセミナーなどにも参画講演者として登壇（次回セミナーは12月19日）。国交省経産省や運輸省主催のアジア向け物流検討委員会に委員として名を連ねる。

また、カンボジアセミナー&交流会をほぼ毎月都内で開催。食事、酒、カラオケをセットにした気楽な懇親会（場所は新橋のニュー新橋ビル3F 昭和ブックカフェ。）。興味のある方の参加大歓迎。

### 講演 3, ミャンマー事業について

㈱小島衣料 オーナー 小島正憲氏

#### 1, ミャンマー事業

同国には 97 年に進出。20 年からの COVID19 の影響で操業停止に追い込まれ 1000 名の従業員を半分にリストラ。大赤字・キャッシュショートとなり本社から支援（本社も赤字に）。21 年以降 COVID19 が収束する中で、日本など各国企業の縫製業の中国からの撤退・縮小が相次ぎ、代替生産地としてカンボジアが注目され、現法が一気にフル操業に、従業員も 1200 名に増員。OEM 先との取引通貨も日本円から US ドルに換えてさらに収益プラス。その活況も束の間、クーデター勃発。しかし、現地通貨暴落のため製造コストが大幅に下がった上、政情不安を嫌がって他の外資縫製業者（中国資本等）が撤退したため現在同社がほぼ OEM を「独占」、業績は何とか維持している。

但し、ミャンマーは先進各国から経済制裁下にあるため、同国産の衣料の先進国むけの販売はできない状態。電力不足は頭が痛いが一部の電力を太陽光で賄っている。国軍からは色々難癖を付けられ時々お金を「せびられている」。同国は人口約 5000 万人（おそらくもっと多い）。約 60%がビルマ人。ロヒンギャなどの少数民族が国境沿いに多数存在し、まだ政情が安定してた時代（アウンサン将軍治世）でも国軍との紛争が絶えなかった上に、少数民族同士も常にもめ事があった。

中国との国境沿いはボーダーコントロールが緩く人の行き来が多い。中国人富裕層をターゲットにした中国人「オレオレ詐欺」団が国境のミャンマー側に拠点を構えて活動していたが、最近両国警察が協力し一斉検挙した。

ミャンマー人のマネジメントのポイントは「怒らないこと」。人生で怒られたことがない人がほとんどで叱責されると大いにショックを受ける。まして人前での叱責は厳禁。

#### 2, アジア老人ホーム構想

アジアに日本人向け老人ホームを作りたい構想がある。定年後のセカンドライフでなく、現地で一生を終える形のサービスを提供するアイデア。

進出先はまずはインドネシアと考えている。数年前インドネシアから日本の介護職に約 100 名が応募したが日本語能力不足で大部分が不合格になったが、これらの人たちの能力は高く、現地で全員が職を得ている。こういう人たちの活躍の場にもなる。アジア各国は介護費が安くできる、気候も良い。いわゆる「ターミナルケア」もできる。「日本から老人を輸出する」構想。

#### 【円安体感】

○IT 産業と総統選挙の取材で台湾に行こうといつもの旅行会社に手配を頼んだ。ホテルは 1 万円前後で依頼したらそんな値段では台北市内だと主要な場所では探せないという。ドル高といわれるが韓国ウォン高、タイバーツ高、台湾元高などアジア通貨貴なのだ。最近アジアに出かける度に日本経済の凋落をひしひしと感じる。

(アジアビジネス探索者増田辰弘)

## 第66回海老名サロン

日時 2024年2月22日(木) 午後2時40分より

会場 神奈川中小企業センター6階大研修室

主催 神奈川県異業種連携協議会

後援 神奈川県中小企業家同友会

「人を活かす多角化経営の実践！」

～挫折から学ぶ自己点検と経営理念の構築～

スターホーム(株) 代表取締役 星 武司氏

入社2年目に突然「社長をやれ」と言われて社長に就任。右も左も分からないまま、顧客満足をかかげながら、一方的な上意下達のワンマン経営で必死に突っ走ってきました。しかし、ある日突然の大事件とピンチを契機に、それまでの経営のあり方、やり方を根本から見直し、社員満足、顧客満足、地域満足を柱に様々な困難を乗り越え本業の建築業をベースに障害者グループホームの運営、民泊、キャンプ場、キャンプサイト等の多角化経営に取り組み、業務実績をあげています。

参加費(資料費等) 2,000円 交流会 4,000円

出席 ア サロン出席 イ 交流会出席 (○をご記入ください)

(氏名・所属・TEL・email等)

(連絡・参加申し込み)

愛 070-4478-1902 E-mail aikenji1024@gmail.com

FAX 045-228-7331